

全国学力・学習状況調査結果（4月18日実施）および重点課題と指導方法の改善

全国学力・学習状況調査 本年度正答率（％）

	国語	数学	英語
本校	72%	55%	45%
県	70%	49%	43%
全国	69.8%	51.0%	45.6%

教科		学習指導要領の領域	平均通過率（％）			重点課題		改善策
			本校	県	全国	課題のある領域	内容	
国語	①	話すこと・聞くこと	86.0	83.4	82.2	④	情報の扱い方に関する事項に課題がある。「考え」にあたる部分を捉えられない。	様々な文章の読解において、「原因と結果」、「意見と根拠」、「具体と抽象」などの情報と情報との関係を押さえる学習課題を取り入れる。そこで把握したことを人に説明する場面を設け、理解を深める。
	②	書くこと	63.4	63.2	63.2			
	③	読むこと	68.3	64.9	63.7	③	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものがどれか判断できていない。	判断をするために必要な用語の知識が定着していないための誤答を防ぐため、「引用」、「敬体」等の用語の反復学習を行う。また、二つの文章のある観点から比較して評価する学習を取り入れる。
	④	言葉の特徴・情報の扱い方・言語文化	70.1	68.2	68.5			
数学	①	数と式	69.8	61.4	63.0	②	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することや条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を読み取ることができていない。	予想した事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考えることができるように、条件を変えるなどして考察させる。また、証明を振り返り、証明に用いた前提や根拠を整理させる。
	②	図形	36.9	31.1	33.2			
	③	関数	56.9	50.4	51.2	④	累積度数や四分位範囲など数学用語の意味の理解ができていない。	データの活用で使われる数学用語の意味や必要性を理解させるとともに、分布の傾向を読み取って判断する場面で、数学的な表現を用いてその根拠を説明させる活動を取り入れる。
	④	データの活用	47.3	46.6	48.5			
英語	①	聞くこと	54.9	55.1	58.4	④	書き手の意見に対する自分の考えや理由を書く際に、基本的な語や文法を理解しきれていない。	読みもの教材の最後に、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を行っていく。
	②	読むこと	55.1	50.1	51.2			
	③	話すこと	19.0	12.0	12.4	①	英語の情報を正確に聞き取ることができていない。	常活動としてリスニング教材を増やしたり、聴き取る視点を伝えるなど、リスニングのコツを伝えながら指導する機会を増やす。
	④	書くこと	22.1	20.3	23.4			

課題のある項目について、重点課題の分析し、改善策を立てています。